

平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月8日

上場会社名 株式会社ネクシィーズグループ 上場取引所 東
 コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 平成29年6月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	7,694	15.1	1,035	34.6	1,258	67.2	838	136.1
28年9月期第2四半期	6,685	56.1	769	248.7	752	196.0	355	150.1

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 988百万円 (100.6%) 28年9月期第2四半期 492百万円 (215.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	68.09	65.12
28年9月期第2四半期	28.40	26.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第2四半期	13,336	7,294	37.0	395.64
28年9月期	12,071	7,353	40.5	395.84

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 4,928百万円 28年9月期 4,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	5.00	—	10.00	15.00
29年9月期	—	10.00	—	—	—
29年9月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	17.3	2,000	16.5	2,200	28.1	1,400	15.2	113.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正につきましては、本日（平成29年5月8日）公表いたしました「業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	13,413,640株	28年9月期	13,413,640株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	955,250株	28年9月期	1,067,620株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	12,320,944株	28年9月期2Q	12,511,964株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、堅調な雇用・所得情勢を受けて、個人消費が緩やかに回復基調で推移した一方で、米国の大統領交代に伴う政策動向や中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化による影響は不透明で、引き続き景気の先行きには注視が必要な状況が続いております。GDP伸び率は、平成28年10月～12月に0.3%増となりました。消費者物価指数（生鮮食品除く）は、前年同月比△0.4%～0.2%の間で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループでは、LED照明を中心に業務用冷蔵庫・空調・節水機器など設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の設備を導入できる「ネクシィーズ・ゼロシリーズ」（以下、「ネクシィーズ・ゼロ」）を中心に事業拡大を続けており、今後の更なる成長加速と新たな挑戦に取り組むことで企業価値の最大化を図っております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き各提供サービスの新規顧客開拓と周辺領域への進出による収益力強化を図っております。特に「ネクシィーズ・ゼロ」において、導入件数に加えて取扱金額も増加傾向にあり、成長拡大が続いております。

これらの結果、売上高7,694百万円（前年同四半期比15.1%増）、営業利益1,035百万円（前年同四半期比34.6%増）、経常利益1,258百万円（前年同四半期比67.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は838百万円（前年同四半期比136.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、比較・分析は変更後のセグメント区分に基づき記載しております。

[エネルギー環境関連事業]

エネルギー環境関連事業では、LED照明等の設備導入サービス「ネクシィーズ・ゼロ」の提供、利用者獲得業務及び販売、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き「ネクシィーズ・ゼロ」の提供に注力しております。顧客の新規開拓においては、主に中・大型店舗や複数店舗を持つチェーン店など、比較的規模の大きい案件の開拓に注力しております。また、提案から工事完了までの充実したサポート体制により、既存取引先からの紹介も多数頂いております。一方で、今後更なる成長を図るため、業務用の空調や冷蔵庫、食洗機等の新商材についても営業人員を増員して拡販に努めており、新たな受注が増加しております。

その他LED照明等の販売やインターネット接続サービスについても堅調に推移しております。

これらの結果、エネルギー環境関連事業は、売上高5,062百万円（前年同四半期比22.2%増）、セグメント利益1,215百万円（前年同四半期比31.7%増）となりました。

[電子メディア事業]

電子メディア事業では、企業プロモーション支援を目的として、電子雑誌等の各種サービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き電子雑誌を始めとした、ECサポートやHP制作・運営、キャンペーンの企画・運営等の各種企業プロモーション支援に注力しております。

また、神体験3Dクレーンゲーム「神の手」においては、プロモーション活動への先行投資やリリース以来初となるフルリニューアルを実施いたしました。

そのほか、企業とのコラボレーション企画や、地方自治体のPRを目的としたタイアップ企画に加え、実機クレーンゲームとの連動企画も展開し、利用者数増大に努めております。

これらの結果、電子メディア事業は、売上高1,457百万円（前年同四半期比12.2%増）、セグメント利益148百万円（前年同四半期比30.0%減）となりました。

[文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け教室等の運営や、呉服・和装小物等の販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、成人式の着付けや大学卒業の袴着付け業務を行ったほか、2月にきものクイーンコンテストを開催いたしました。また、生徒募集に注力した結果、きもの着付けの申込者数が例年より増加傾向にあります。

これらの結果、文化教育事業は売上高1,058百万円（前年同四半期比0.4%減）、セグメント利益43百万円（前年同四半期比6.2%減）となりました。

[その他事業]

その他事業には、金融商品仲介、DNA解析に基づく健康コンサルティング業務、業務受託テレマーケティング、事務業務受託が含まれており、全体として概ね堅調に推移いたしました。

これらの結果、その他事業は売上高156百万円（前年同四半期比19.9%減）、セグメント利益59百万円（前年同四半期比23.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

a. 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は13,336百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,264百万円の増加となりました。

① 資産の状況

(流動資産)

流動資産は10,303百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,323百万円の増加となりました。これは主に、借入金の増加に伴い現金及び預金が1,080百万円、「ネクシィーズ・ゼロ」サービスが好調に推移したことに伴いリース債権が802百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が697百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は3,032百万円となり、前連結会計年度末に比べて58百万円の減少となりました。これは主に、建設仮勘定が65百万円増加した一方で、出資金の払い戻し及び株式の売却等により投資有価証券が99百万円が減少したことによるものであります。

② 負債の状況

(流動負債)

流動負債は4,228百万円となり、前連結会計年度末に比べて931百万円の増加となりました。これは主に、業容の拡大に伴い買掛金が292百万円、短期借入金が600百万円、未払法人税等が73百万円それぞれ増加した一方で、業績連動賞与引当金が支給により49百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は1,813百万円となり、前連結会計年度末に比べて391百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を除く）が318百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は7,294百万円となり、前連結会計年度末に比べて58百万円の減少となりました。主な内訳は、子会社株式取得等に伴い資本剰余金が481百万円、自己株式の買付に伴い自己株式が89百万円それぞれ減少した一方で、利益剰余金が552百万円増加したことによるものであります。

以上により流動比率は243.7%となり前連結会計年度末比28.7ポイント減少いたしました。株主資本比率は37.0%となり前連結会計年度末比3.5ポイント減少いたしました。一方で、時価ベースの株主資本比率は156.6%となり前連結会計年度末比10.3ポイント増加いたしました。

b. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は4,712百万円となり、前連結会計年度末残高3,631百万円と比べて1,080百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は686百万円（前年同四半期は190百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,258百万円、仕入債務の増加額292百万円をそれぞれ計上した一方で、リース債権の増加額802百万円、解約調整引当金の減少額61百万円をそれぞれ計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は313百万円（前年同四半期は49百万円の収入）となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入264百万円、出資金の分配による収入199百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出77百万円、投資有価証券の取得による支出50百万円がそれぞれあったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は80百万円（前年同四半期は593百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入600百万円、セール・アンド・リースバックによる収入97百万円、自己株式の処分による収入60百万円があった一方で、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出692百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日公表の「業績予想の上方修正に関するお知らせ」に記載の通り修正を行いました。なお、今後の各事業の取り組み、業績予想につきましては、以下のとおりであります。

[エネルギー環境関連事業]

エネルギー環境関連事業では、LED照明等の設備導入サービス「ネクシィーズ・ゼロ」の提供、利用者獲得業務及び販売、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供を行っております。

同事業では引き続き、LED照明を中心に業務用冷蔵庫・空調・節水機器など設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の設備を導入できる「ネクシィーズ・ゼロ」に注力してまいります。

本サービスでは、認知度の向上と信頼性の浸透により、新規の受注が増加傾向にあります。そのため、引き続き効率的に営業活動が行える予定です。また、冷蔵庫、空調、食洗機に加え、顧客ニーズに応じて今後も新商材の導入を検討してまいります。

また、4月より人員を増員しており、受注件数が増加する見込みであります。また、収益規模拡大に向けて、より大型の案件受注にも注力してまいります。

[電子メディア事業]

電子メディア事業では、インターネットを主とした企業プロモーション支援を行っております。

電子雑誌については、営業人員の増員及び新たな電子雑誌の発行により、広告掲載クライアント数の増加を目指してまいります。電子雑誌の制作受託料については、既存案件の契約更新に加え、新たな電子雑誌を発行し、制作受託案件の増加を目指してまいります。

その他のインターネットを活用した販売促進支援業務については、既存案件の契約更新に加え、主に営業人員の増員により、新規クライアント数の増加を目指してまいります。また、神体験3Dクレーンゲーム「神の手」については、広告宣伝等の大規模プロモーションによる先行投資を行っていく予定です。

[文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け教室等の運営や、呉服・和装小物等の販売を行っております。

同事業では引き続き、きもの着付け教室等の日本の伝統文化に関する習い事への認知度や関心を高めるため、様々なイベントを企画してまいります。また、経営の効率化と費用の適性化に引き続き努めてまいります。

[その他事業]

その他事業には、金融商品仲介、DNA解析に基づく健康コンサルティング業務、業務受託テレマーケティング、事務業務受託が含まれており、全体として概ね堅調に推移する見込みです。

平成29年9月期通期連結業績見通し（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

売上高 16,500百万円
営業利益 2,000百万円
経常利益 2,200百万円
親会社株主に帰属する当期純利益 1,400百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,631,622	4,712,451
受取手形及び売掛金	4,502,929	3,805,648
リース債権	44,799	847,075
商品	165,164	183,298
未収入金	311,250	293,940
繰延税金資産	191,543	233,134
その他	254,247	365,155
貸倒引当金	△121,040	△136,901
流動資産合計	8,980,516	10,303,803
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	121,162	106,921
その他（純額）	152,681	205,101
有形固定資産合計	273,843	312,023
無形固定資産		
のれん	132,842	125,334
その他	93,101	98,364
無形固定資産合計	225,944	223,698
投資その他の資産		
投資有価証券	1,387,773	1,288,018
敷金及び保証金	447,838	443,417
その他	832,922	841,571
貸倒引当金	△76,849	△75,934
投資その他の資産合計	2,591,684	2,497,072
固定資産合計	3,091,472	3,032,794
資産合計	12,071,988	13,336,598

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	741,183	1,033,842
短期借入金	500,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	242,760	362,760
未払金	498,520	491,018
未払法人税等	346,249	420,154
解約調整引当金	400,030	338,324
業績連動賞与引当金	200,000	150,043
その他	368,427	332,068
流動負債合計	3,297,171	4,228,212
固定負債		
長期借入金	1,335,860	1,654,480
その他	85,838	158,937
固定負債合計	1,421,698	1,813,417
負債合計	4,718,869	6,041,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,189,156	1,189,156
資本剰余金	861,963	380,237
利益剰余金	3,562,892	4,115,799
自己株式	△721,890	△811,039
株主資本合計	4,892,121	4,874,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,099	54,843
その他の包括利益累計額合計	△5,099	54,843
新株予約権	10,374	10,250
非支配株主持分	2,455,721	2,355,720
純資産合計	7,353,119	7,294,968
負債純資産合計	12,071,988	13,336,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	6,685,641	7,694,909
売上原価	4,018,309	3,987,280
売上総利益	2,667,332	3,707,628
販売費及び一般管理費	1,898,328	2,672,296
営業利益	769,004	1,035,332
営業外収益		
投資有価証券売却益	—	195,674
持分法による投資利益	8,118	12,811
その他	2,858	25,003
営業外収益合計	10,976	233,489
営業外費用		
支払利息	2,205	4,185
支払手数料	—	4,585
投資事業組合運用損	12,400	—
その他	12,551	1,628
営業外費用合計	27,158	10,399
経常利益	752,822	1,258,422
特別利益		
固定資産売却益	1,666	—
特別利益合計	1,666	—
税金等調整前四半期純利益	754,489	1,258,422
法人税、住民税及び事業税	115,915	399,797
法人税等調整額	153,316	△70,179
法人税等合計	269,231	329,618
四半期純利益	485,257	928,804
非支配株主に帰属する四半期純利益	129,936	89,820
親会社株主に帰属する四半期純利益	355,320	838,984

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	485,257	928,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,554	59,942
その他の包括利益合計	7,554	59,942
四半期包括利益	492,812	988,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362,875	898,926
非支配株主に係る四半期包括利益	129,936	89,820

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	754,489	1,258,422
減価償却費及びその他の償却費	63,256	54,532
のれん償却額	8,150	7,508
解約調整引当金の増減額(△は減少)	134,937	△61,706
業績連動賞与引当金の増減額(△は減少)	150,000	△49,956
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,730	14,945
支払利息	2,205	4,185
持分法による投資損益(△は益)	△8,118	△12,811
投資事業組合運用損益(△は益)	12,400	△20,923
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△195,674
売上債権の増減額(△は増加)	△858,554	696,822
リース債権の増減額(△は増加)	—	△802,276
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20,054	△67,407
仕入債務の増減額(△は減少)	143,055	292,658
前受金の増減額(△は減少)	44,328	59,041
未払消費税等の増減額(△は減少)	△69,733	△161,636
その他	27,339	5,907
小計	374,971	1,021,633
利息及び配当金の受取額	1,878	707
利息の支払額	△2,197	△4,420
法人税等の支払額	△184,392	△331,702
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,260	686,217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3,284	△50,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	264,000
出資金の分配による収入	99,000	199,310
有形固定資産の取得による支出	△25,070	△77,531
無形固定資産の取得による支出	△17,146	△17,046
その他	△4,379	△4,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	49,118	313,828
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	600,000
長期借入れによる収入	1,700,000	600,000
長期借入金の返済による支出	—	△161,380
非支配株主からの払込みによる収入	186,397	20,660
セール・アンド・リースバックによる収入	—	97,230
配当金の支払額	△62,636	△123,444
自己株式の取得による支出	△123,095	△312,427
自己株式の処分による収入	9,143	60,524
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,300,017	△692,209
その他	△2,894	△8,169
財務活動によるキャッシュ・フロー	△593,103	80,782
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△353,724	1,080,829
現金及び現金同等物の期首残高	3,720,676	3,631,622
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,366,951	4,712,451

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(売上原価、販売費及び一般管理費の区分)

当社は、エネルギー環境関連事業の経営組織体制変更に伴い、各部門の機能を見直した結果、従来売上原価に計上されていた費用の一部を販売費及び一般管理費として計上しております。

当該変更により、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の売上原価が627,739千円減少し、売上総利益が同額増加しております。また、販売費及び一般管理費が627,739千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー 環境関連 事業	電子メディア 事業	文化教育 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,142,972	1,288,607	1,062,540	6,494,121	191,520	6,685,641	—	6,685,641
セグメント間の内部 売上高又は振替高	367	10,848	—	11,215	4,290	15,506	△15,506	—
計	4,143,339	1,299,456	1,062,540	6,505,337	195,811	6,701,148	△15,506	6,685,641
セグメント利益	923,146	211,902	46,412	1,181,461	48,324	1,229,786	△460,781	769,004

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融商品仲介、DNA解析に基づく健康コンサルティング、業務受託テレマーケティング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△460,781千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー 環境関連 事業	電子メディア 事業	文化教育 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,062,137	1,417,764	1,058,821	7,538,723	156,185	7,694,909	—	7,694,909
セグメント間の内部 売上高又は振替高	719	40,073	—	40,792	600	41,392	△41,392	—
計	5,062,856	1,457,838	1,058,821	7,579,516	156,785	7,736,301	△41,392	7,694,909
セグメント利益	1,215,619	148,339	43,526	1,407,485	59,805	1,467,291	△431,958	1,035,332

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融商品仲介、DNA解析に基づく健康コンサルティング、業務受託テレマーケティング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△431,958千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、成長分野へ経営資源を集中してきたことに伴う収益構造の変化に対応するため、当社グループの事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「ライフアミニティ事業」「ソリューションサービス事業」「文化教育事業」から、「エネルギー環境関連事業」「電子メディア事業」「文化教育事業」「その他」に変更しております。

このため、前第2四半期連結累計期間のセグメント損益につきましても、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。